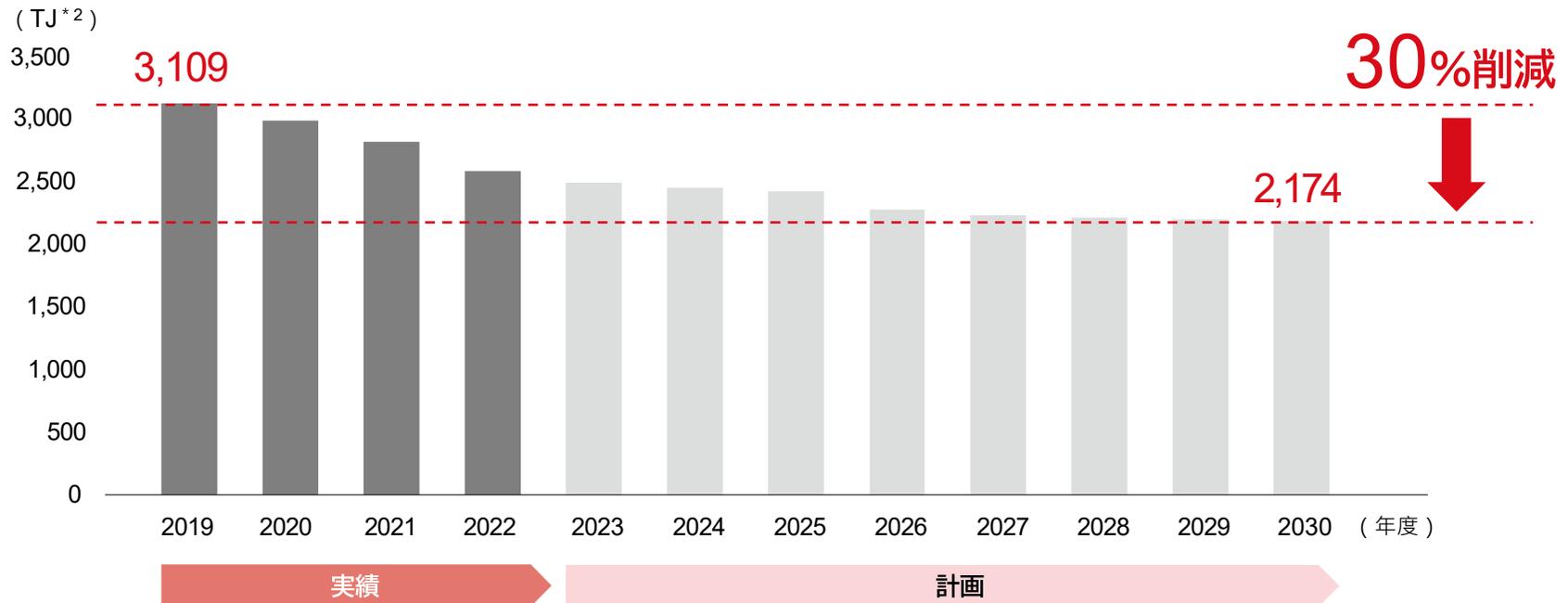


## 取り組み事例：省エネ目標の設定

MUFGは、事業活動に伴うGHGの排出抑制とコスト削減の両立、また、全社的な環境意識の醸成を図るため、エネルギー使用量の削減目標を設定しています。具体的には、省エネ機器の導入や事業所規模の適正化などのハード面、オフィスにおける空調設定温度の調整や社員による能動的な省エネアクションなどのソフト面の施策を組み合わせることで、国内の銀行建物におけるエネルギー使用量\*1を2030年度までに2019年度比30%削減することをめざします。目標達成に向けた取り組み状況を定期的に開示することで、目標の達成を全社的に進める機運を高めていきます。

### 銀行(国内)のエネルギー使用量



\*1 一次エネルギー換算(評価の継続性を担保するため、計画値に2019年度の係数を使用)

\*2 エネルギー消費量の単位としてテラジュール(TJ)を用いている

### **見通しに関する注意事項**

本レポートには、株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループおよびそのグループ会社に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、当社が現在入手している情報に基づく、本レポートの作成時点における予測等を基礎として記載されています。また、これらの記述のためには、一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述または前提(仮定)は主観的なものであり、将来において不正確であることが判明したり、将来実現しない可能性があります。なお、本レポートにおける将来情報に関する記述は上記のとおり本レポートの作成時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有していません。また、本レポートに記載されている当グループ以外の企業等に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。